

かるがも・ねっと 子育て応援講演会の報告

演 題：「生きる力 ～もめごとはこやし～」

講 演 者：箕浦健治先生（花まる学習会 野外体験）

開 催 日：2014年2月7日（金） 10：00～12：00

参加者数：122名（うち、関係者7名）

主 催：つくば市子育て支援ネットワーク かるがも・ねっと

共 催：つくば市こども課

☆講演の報告

講演会は、「もめごとはこやし」というテーマで行われました。「もめごと」とその「もめごと」を通じて子どもが成長していく姿、そして、その際の親の関わり方についてのお話がありました。

箕浦先生は、ご自身のイジメの体験や、サマースクールでの子ども同士の「もめごと」とその後子どもたちの様子など、「もめごと」の様々なケースを丁寧に紹介してくださいました。また、こ

うした「もめごと」が起きたときの対応として、「親は、子どもが話すまで、見守っていること」や「もめごとには、親や大人が必要以上に介入せず、子ども同士で解決できるようにすること」が大切であると、お話してくださいました。

その他に、親が気をつけるポイントとして、家庭内での母親と父親の立ち位置の違いがあり、母親は「太陽」のような存在になること、家庭の基準を決め、ぶれずにその基準を守っていくこと、きょうだいに対する関わり方（上の子に対する関わりの比重を重くし、下の子はある程度放っておいても大丈夫であること）などをあげてくださいました。

参加者からは、「子どもの成長に伴い出てくるであろう悩みのお話がすごく参考になった。何かにつづったときの参考にとてもなると思う」、「自分自身が子どもにどのように関わっているか、考え直す機会になりました」、「具体例を聞きながら、なるほどと思い、子どもが大きく成長していく様に感動しました。たくさんのヒントと元気を頂きました」、「普段感じていたことを、自分の周りの人々ならず、別の世界、地域の方からの話で確認することができて安心しました」といった感想を頂きました。

当日は予想以上に多くの方が参加してくださいました。箕浦先生の具体的で、ユーモアあふれるお話に、熱心に聞き入り、ときに笑いもおこり、活気のある講演会となりました。最後に、この場をかりて、箕浦先生をはじめ、共催のつくば市こども課、ご来場者の皆さまに御礼申し上げます。

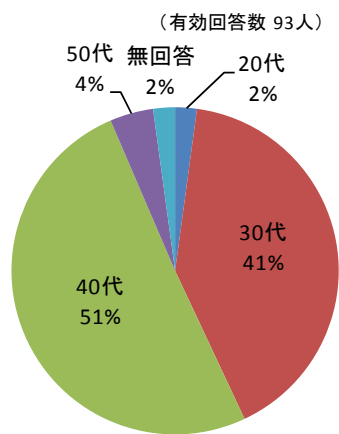


☆アンケート結果の概要

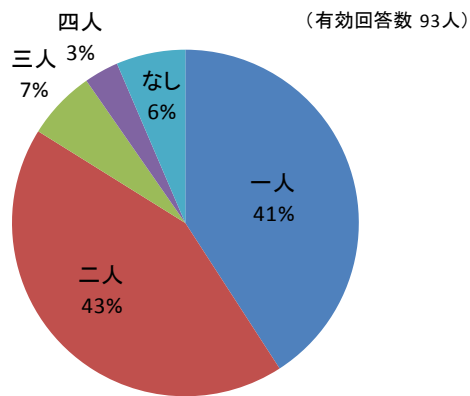
- ・参加者の中心ゾーンは、30代～40代(全体の92%)
- ・参加者のお子さんは、幼稚園に通っていると思われる年齢層が最も多く、次いで小学生のお子さん
- ・もっとも多い参加者層としては、幼稚園と小学校に通うお子さんがそれぞれ一人ずついる方で全体の1/4近くであった
- ・講演会を知る手段としては、「幼稚園・小学校から」がダントツに多く、半分を超える参加者がこの手段で講演会情報を入手していた
- ・情報ルートが少ないと想定される、0歳～3歳までの幼稚園・小学校に通う兄弟のいない参加者の情報入手ルートとしては、かるがもねっとからとカレンダーが有効に働いていた
- ・要望の自由記述欄としては、「叱り方」「いじめ」「野外・キャンプ」などのワードを含む記述が複数見られた

○集計結果（有効回答者数 93 人）

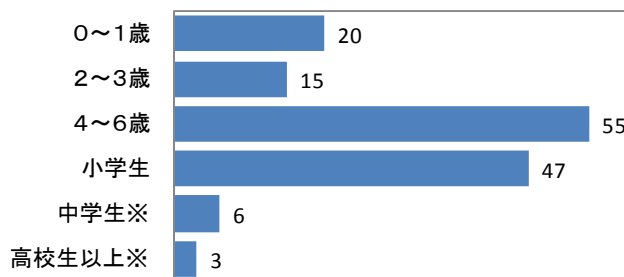
■参加者の年代



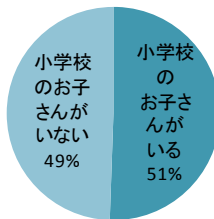
■お子さんの数



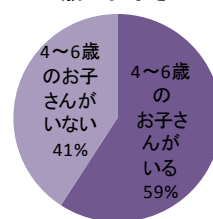
■お子さんの年齢(複数回答あり)



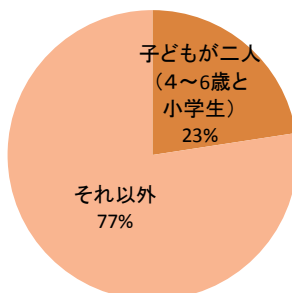
小学生のお子さんの有無



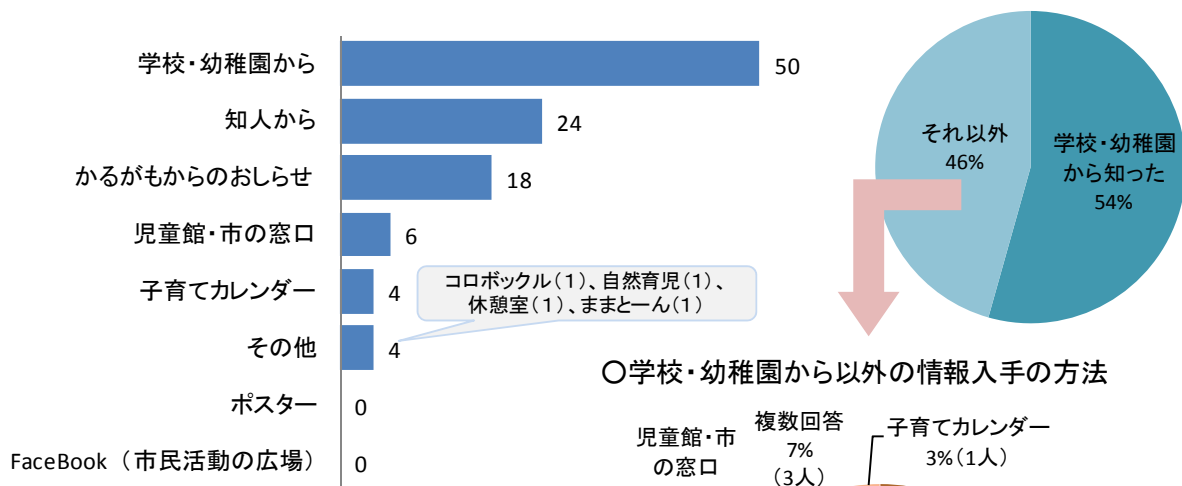
4～6歳のお子さんの有無



一番多い参加者層は、
「4～6歳と小学生の二人の子どものいる30代～40代の方」



■講演会を何で知ったか(複数回答あり)



小学校・幼稚園に通っているお子さんがおらず、0歳～3歳のお子さんをもっている人→9人

その9人の講演会情報 入手手段 (複数回答 1人)

かるがもからのお知らせ	3人
子育てカレンダー	2人
知人から	2人
休憩室	1人
ままとーん	1人
児童館・市の窓口	1人

- ☆感想 ※一部のみ ()内は、参加者の年齢と子どもの年齢。
- ・2人子どもがいるけれど、気づくと上の子ばかり気にしているような気がします。でも、そんなには間違っていないのかとも安心したり。子供と野外で大人も本気で楽しく遊ぶ時間を増やしたいと思いました。(40代、小学生と4～6歳児)
 - ・一人っ子のため、心配に思っていたことについて、入学を前に不安に感じていたはじめのことなど、お話が聞いて良かったです。母の安定を心がけ子どもを信じて子育てをしたいと思いました。(40代、4～6歳児)
 - ・たくさん子ども、親を見てきた先生の実体験に基づく話がとてもためになり、時間の流れが早く感じるほどに興味深く感じました。実際のケースを元に、ユーモアを交えながらイメージしやすく話し頂いたことがとても良かったです。難しい箇所が一つも無かったです！頭がリフレッシュ出来ました。(30代、0～1歳児)
 - ・若いお母さん方にこれからの子育てについて、子どもへのかかわり方、アドバイス。お父さんの在り方を伝えていきたいと思います。子どもは外で遊ぶことが大切という言葉聞いて、自分の孫たちの在り方もいろいろ考えさせられました。事例を挙げてのお話しもとても聞きやすく、自分自身の今までの子育てについてもう一度振り返り、良きアドバイスが出来れば良いかと思います。(50代、子育て支援者)

☆今後、講演会で聞いてみたいことの「自由回答」で多かったワード

叱り方 → 10人

- ・叱り方について
- ・子供への叱り方 日々悩んでいます。
- ・叱り方。叱らない育て方はどう考えていますか？
- ・伝わる叱り方・NGワード

いじめ → 6人

- ・いじめに関して、境界線が難しいです。知って知らぬ振りをするコツなど
- ・いじめられている子を救ってあげする方法
- ・いじめている子にも何か原因があるのではないかと思います。
- ・いじめにあったときに子供への対応など
- ・子供同士の関係 ケンカといじめ 小学生～中学生の友達つきあいの変化

野外・キャンプ → 7人

- ・男の子の接し方。野外体験があまり出来ない場合のことなど。
- ・息子がニートになるのが一番心配なので、幼児期にメンタルを鍛える方法について(野外以外でも)
- ・どんな野外活動を行っているのかもきいてみたいです。叱らない育て方について
- ・主体性を育てる方法 ・家庭で出来る野外活動(サマースクール以外)
- ・野外体験プログラムの内容・スタッフとしての心得について
- ・家庭でも出来る野外体験のような経験の方法があれば
- ・キャンプの具体的な内容

父 → 5人

- ・つくばでも父親向けの講演があると良いなと思いました。
- ・父親の育児参加へ、母親・妻としての意見の述べ方 :例:11ヶ月の息子がTVの配線を引っ張り遊んでいるとき、父親が「危ないの！ダメ！」と頭を叩いたときに、「叩かないか、叩くならお尻にして！」としか言えない私。しつけ・注意の積みりだったと思います。彼にどう伝えたらよかったですでしょうか？叩くのはよいのでしょうか？
- ・父と子の関わり合い
- ・子供ももちろんですが、父・母の関係…子供の事でもめる事
- ・祖父の教育方針が合わないが、どうやっていけばうまくやっていけばいいか？子供には仲良く見せたいし、祖父のことも好きであってほしいと思うので、自分のストレスがたまるし、それが子供に伝わると嫌だなと思う
- ・夫婦間の子育てへの関わり方の違いについて

女 → 4人

- ・女の子に関わる方法
- ・女子のもめごと解決
- ・女の子の対応について、もっとききたかったです。
- ・女の子の話(男の子の話が多かったので)

その他の回答

- ・主体性を育てる方法
- ・言わないよう気をつけているけれど、言ってしまうNGワードについて。他の方から聞くと、改めて気をつけることが出来ます。
- ・長女・次女・末っ子(男子)それぞれの育て方や扱い方。特に次女について聞いてみたい
- ・発達障害児の子供の接し方・母親になってからの社会への参加
- ・集団生活での過ごし方で気をつけるポイント
- ・男女の違いなど
- ・家庭で大切にしなければいけないこと・事故や怪我から守るために
- ・兄弟・一人っ子の育て方・その時、その時期に合わせた遊び方接し方など
- ・思春期以降の話
- ・中学生・高校生の男の子に対する接し方
- ・事故の事が聞きたかったです。中・高生からの事
- ・妹に母を取られて寂しい姉への対応など
- ・男心
- ・子供ももちろんですが、父・母の関係…子供の事でもめる事
- ・気をつけるポイントを詳しく聞きたかった
- ・生きる力にあふれた青年との出会いについて
- ・兄弟、上の子のケア ・友達とのけんかの見守り方(幼児)
- ・子供対象の「12才の君へ」を聞きたいです。
- ・子供の心を強く育てるには ・何でもがんばる子を育てる
- ・共働き夫婦と子どものかかわり方
- ・4～9才の大切な時期、具体的にどんなことが大切か知りたいです。
- ・解決していない現在進行形の話
- ・生きる力にあふれた青年の話
- ・子供をやる気にさせるコツなど
- ・主人への態度を改めてみます。
- ・母の心の安定
- ・子供を怪我や事故から守るために
- ・高学年の子どもへの接し方
- ・子どもの男女差で接する際気をつけることなど
- ・子との遊び方など
- ・やる気を起こさせる方法
- ・青年期の子どものとのかかわりについて。
- ・子どもを怪我や事故から守るために
- ・子供のやる気スイッチの話(親も？)
- ・親が気をつけるポイント
- ・末っ子の心の中 一生懸命勝ちたい気持ちを出している気がします。私自身も長女だったので、下の子の気持ちを聞いてみたいです。
- ・子ども達の自主性を引き出すためのしつけや視点(大人の)についてもっと詳しく聞きたいと思います。ぐらいたなサマースクールでの働きかけなど。
- ・子育ては自分が両親にされたことをやってあげれば自分くらいには育つと思ってやっています。しかし、その時代によって新たに起こる子育ての難しさをお話して頂きたいです。
- ・親が共に体験することの重要性について
- ・子供を怪我や事故から守るために
- ・幼児期にうまく子供と接することが出来なかった場合、青年期以降はどうしていけばいいか
- ・EQどうやってEQをたかくなる。アメリカのBUZZWORDなんですけど、日本ではあまりきかない。ママはなんで私のともだちにおこらないけど私におこるの？けいたい・パソコン・テレビ、みんなもってるけど・・・うちにない
- ・一人っ子で、もまれ弱い子に必要なこと。やさしくみんなと仲良くできますが、これが裏目になることもあるのでしょうか？
- ・中学生期(思春期)の子供との対話
- ・一人っ子の良さをどう生かしたらいいか。芋貝(?)のプラス志向をどう伝えたらいいか
- ・反抗期・思春期の接し方